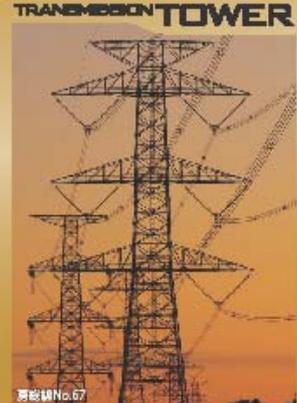


千葉県版「鉄塔カード」概要

【千葉県版「鉄塔カード」】

 <p>京浜線No.67</p>	 <p>南袖ヶ浦線No.12</p>	 <p>東柳沼南線No.14</p>	 <p>金ヶ作線No.1</p>
<p>TRANSMISSION TOWER</p> <p>線路名: 京浜線 電圧: 50万ボルト 高さ: 69メートル 重量: 53トン</p> <p>建設年(竣工): 1966(昭和41)年</p> <p>所在地: 千葉県千葉市若葉区</p> <p>鉄塔型: 懸垂(四角)</p> <p>電線線種: ACSR410×4導体</p> <p>回数: 2回線</p> <p>鉄塔プロフィール: 日本初の50万ボルト送電線。高密度長期の電力需要増大のため建設された海岸火力の電力を効率的に首都圏に送るため、当時の最新技術を凝結して建設された。当初は、27万5千ボルトで運用、1973年(昭和48年)に50万ボルトへ昇圧された。この鋼線線を皮切りに50万ボルト送電線網が構築された。</p> <p>00000000</p>	<p>TRANSMISSION TOWER</p> <p>線路名: 南袖ヶ浦線 電圧: 6万6千ボルト 高さ: 36メートル 重量: 32トン</p> <p>建設年(竣工): 1993(平成5)年</p> <p>所在地: 千葉県袖ヶ浦市</p> <p>鉄塔型: 直角引屈(四角)</p> <p>電線線種: TACSR/AC610</p> <p>回数: 2回線</p> <p>鉄塔プロフィール: 椰子の木が並び南国の雰囲気がある。通称「千葉フォルニア」と呼ばれる袖ヶ浦海岸沿いに並んで建つ鉄塔。この周辺は美しい夕焼けとともに東京湾アクアライン、富士山も遠望でき、ドライブや写真スポットとしても有名。朝陽や夕陽を浴びて建つ鉄塔の姿は、これらの美しい風景を、より魅力的にさせる不思議な力を持っている。</p> <p>00000000</p>	<p>TRANSMISSION TOWER</p> <p>線路名: 東柳沼南線 電圧: 6万6千ボルト 高さ: 24メートル 重量: 33トン</p> <p>建設年(竣工): 1983(昭和58)年</p> <p>所在地: 千葉県柏市</p> <p>鉄塔型: 耐張(四角)</p> <p>電線線種: GUTACSR610</p> <p>回数: 4回線</p> <p>鉄塔プロフィール: 飛行場が近傍に存在するための鉄塔高制限と、電線の地上高確保の高立を回るため、4回線の電線12本を二段の鉄金に水平配置した形状の鉄塔。さらに、上部を紅白に塗装して航空機の視認性を高めている。同タイプ鉄塔が滞りる中でも、この鉄塔は地中線分岐用の鉄金を下部に持つため、さらに独特な形状を有している。</p> <p>00000000</p>	<p>TRANSMISSION TOWER</p> <p>線路名: 金ヶ作線 電圧: 6万6千ボルト 高さ: 28メートル 重量: 19トン</p> <p>建設年(竣工): 1999(平成11)年</p> <p>所在地: 千葉県柏市</p> <p>鉄塔型: 引屈(四角)</p> <p>電線線種: TACSR410</p> <p>回数: 2回線</p> <p>鉄塔プロフィール: 閑静な住宅地の中に突如出現する、三位一体の重厚な鉄塔。その姿は遊武者や要塞を連想させる。送電系統の大規模・複雑化を解消するため、送電線を分岐点で切り分け開閉所を新設。同時に全回線を塔上で地中線化するこれらの鉄塔が建設された。鉄塔内を通過した地中ケーブルは開閉所で接続されている。</p> <p>00000000</p>

【作成数量】

千葉県版「鉄塔カード」: 5,500セット (専用カードケース1個、鉄塔カード4枚)

【作成関係者】

作成: 東京電力パワーグリッド(株) 工務部
 協賛: (一社)送電線建設技術研究会 関東支部
 撮影: (一社)送電線建設技術研究会 関東支部鉄塔カードWG
 編集: 東京電設サービス(株) お客さま事業本部ソリューション工務部